

項目別評価結果・評価コメント

事業者名：社会福祉法人千草会 花の井保育園

評価基準		評点	コメント
福祉サービスの基本方針と組織	項目番号		
- 1 理念・基本方針			
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。			
- 1 - (1) - 理念が明文化されている。	1	A	地域の児童福祉事業の、担い手でありたいとする法人設立時の強い思いを謳うとともに、創意工夫で質の高い保育の提供を目指すとする経営理念が明文化されている。
- 1 - (1) - 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	A	保育の在り方から地域の子育て支援、職員の心構え等法人の運営に関わる基本方針が、7項目に判り易くまとめられ、明文化されている。
- 1 - (2) 理念、基本方針が周知されている。			
- 1 - (2) - 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	A	職員の採用時には、時間をかけて丁寧に説明し周知をはかっている。職員の全体会議では、常々事例と関係付けて解説することにより理解・周知を徹底するよう取り組んでいる。
- 1 - (2) - 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	A	入園案内に記載しているほかに、保護者への説明会、入園時の面接などで説明し周知の努力が行われている。
- 2 計画の策定			
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
- 2 - (1) - 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	B	選ばれる保育所を目指す、中・長期的なビジョンがあり実現のための構想が策定されているが、具体的な形で事業計画に結び付けられていない。
- 2 - (2) 重要課題の明確化			
- 2 - (2) - 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	B	幹部職員の中では、重要課題が話し合わせ、課題認識は共有化されている。整理された形で、明確化されることを望みたい。
- 2 - (3) 計画が適切に策定されている。			
- 2 - (1) - 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	A	毎月の職員会議で、職員と幹部職員とが合議する仕組みができています。

評価基準		評点	コメント
- 3 管理者の責任とリーダーシップ			
- 3 - (1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
- 3 - (1) - 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	A	保育サービスの質の向上に対する、管理者の意欲は極めて強く、職員への個別指導と各種研修会への職員の派遣等の取組みには、管理者の強い指導力が発揮されている。サービスの幅を広げる取組みに、ボランティアの力を借りるなど臨機応変の対応が図られている。
- 3 - (1) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	A	柔軟性をもった人員配置や園内スペースの有効活用、食材の受け渡し方法の改善など、経営や業務の効率化への取組みは、常に管理者の指導力で迅速に実行に移されている。
組織の運営管理			
- 1 経営状況の把握			
- 1 - (1) 経営環境の変化等への対応			
- 1 - (1) - 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	A	県社協をはじめ、地方行政機関などとの頻繁な接触を通じて事業経営を取り巻く環境変化が、的確に捉えられており、経営ビジョンにも採り入れ迅速な対応が図られようとしている。
- 1 - (1) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	B	月次決算をベースに経営分析資料を作成し、経営状況を把握する仕組みはできているが、課題の把握と改善への取組みにおいて、職員を交えた協働体制の構築を急ぎ、改善を更に確かなものにしてゆくことが望ましい。
- 2 人材の確保・養成			
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。			
- 3 - (1) - 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	A	「倫理綱領」として明文化され、内部研修会や会議の席上で随時とりあげて、周知徹底が図られている。
- 2 - (1) - 人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。	13	B	人事方針は、理事会で協議され決められているが、明文化されていない。人材の育成は優先課題として計画的・組織的に取り組まれており、特に外部研修会への職員の派遣を通じて、職員の向上心の高揚を促すことによって、自ら育つ環境を整えることに配慮がされている。
- 2 - (1) - 職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	B	評価基準が明確でないため、職員評価は客観性に欠けるものとなっている。職務毎に評価項目と基準を明確に示すことによって、評価に結び付けて欲しい。
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
- 2 - (2) - 事業所の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	B	適宜、意見を交わし改善課題を把握することは、機能しているが、定期的面接や意見汲み上げの仕組みは整備されていない。組織としての仕組みが、整備されることを望みたい。

評価基準		評点	コメント
- 2 - ( 2 ) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	B	福利厚生面では、職員の評価は定まらず、職員が積極的取り組みを評価するレベルには至っていない。子育て、人づくりに取り組む施設として福利厚生面への配慮は、更に一歩進めることを望みたい。
- 2 - ( 3 ) 職員の質の向上への体制整備			
- 2 - ( 3 ) - 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	A	職員の育成は最優先課題として、運営方針に掲げられ特に外部研修会への参加は、計画的に実施されている。
- 2 - ( 3 ) - 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	A	外部研修に参加した職員は、研修レポートを作成・回覧するだけでなく職員の前で発表し、研修内容を共有する仕組みができています。研修成果を評価し、研修計画の見直しも随時行われている。
- 2 - ( 3 ) - 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	A	直近の1年間で、8校からの実習生の受け入れを行っており、実習生には保育のすべてを学んでもらうべく独自のカリキュラムに沿って、行き届いた実習が行われている。
- 3 安全管理			
- 3 - ( 1 ) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
- 4 - ( 1 ) - 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	A	緊急時に、利用者の安全を確保するための体制は、整えられており、研修・訓練も実施されている。
- 4 - ( 1 ) - 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	A	法人創設以来の創業者の長い経験をベースに、利用者の安全確保のための、細かい配慮が建物の随所に見られる。施設の周りにはモニターカメラも設置され不法侵入者の侵入阻止の備えも進んだ状態となっている。
- 4 地域との交流と連携			
- 4 - ( 1 ) 地域との関係が適切に確保されている。			
- 4 - ( 1 ) - 地域との交流・連携を図っている。	22	A	ボランティアの積極的受け入れ、自治会や小学校との交流・連携など地域に深く馴染んだ存在となっている。
- 4 - ( 1 ) - 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	A	近隣の自然公園は、園児の遊歩コースとして活用されており、公園内の広場は、運動会の会場としても利用されている。道向いの図書館は、職員の学習や保護者の児童保育書の閲覧に役立てられている。
- 4 - ( 1 ) - 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	A	子育てサークルの運営、子育て相談、近隣児童への水曜日の園庭開放のほか、ホールを利用して地域の人達の小音楽会が開かれたり、施設の一部を地域の老人会が茶会に使うなど、地域に機能を還元している。

評価基準		評点	コメント
- 4 - ( 1 ) - 関係機関との連携を図っている。	25	A	自治体(市)、自治会とは緊密な連携をとって、施設の運営に役立っている。児童相談所や保健所などとも連携が密に保たれている。
- 4 - ( 2 ) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
- 4 - ( 2 ) - 地域の福祉ニーズを把握している。	26	A	民生委員や児童委員とは、必要に応じて連携を図るとともに、理事会には地元代表も加わっており、密度の濃いレベルで地域の福祉ニーズが把握できている。
- 4 - ( 2 ) - 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	A	子育て講座や一時保育の開設など、地域の福祉ニーズに応える種々の取り組みを実現している。
適切な福祉サービスの実施			
- 1 利用者本位の福祉サービス			
- 1 - ( 1 ) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
- 1 - ( 1 ) - 施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	A	プライバシーの保護に関して、職員全員がしっかりと理解しており、そのための研修や勉強会を行っている。
- 1 - ( 1 ) - プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。	29	A	「個人情報に対する基本方針」を定めており、マニュアルを含め、職員全員が周知している。
- 1 - ( 2 ) 利用者満足の向上に務めている。			
- 1 - ( 2 ) - 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	A	年間計画の中にも、保護者会や個人面接を明記し、定期的に行う事で、保護者からの要望や問題への解決、質の向上へと繋げている。今後は、更に利用者満足の実態把握の検討を望みたい。
- 1 - ( 2 ) - 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	B	職員会議などで、管理者や職員との話し合いを行なっているが、保護者も参加する検討会は行っていない。保護者参画のもとで、改善に向けた検討会議の取り組みを行って欲しい。
- 1 - ( 3 ) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
- 1 - ( 3 ) - 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	A	文書を入口に掲示し、個人面談のほか電話やメールなどで相談し易い、対応を行っており、「いつでも相談できる」仕組みが用意されている。
- 1 - ( 3 ) - 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	A	法人以外の地域の方が、第三者委員として活動しており、管理者や職員も苦情に関しては迅速に納得した回答を行なえるように、情報を共有し、保護者や関係者に理解してもらえる体制が整っている。

評価基準		評点	コメント
- 1 - ( 3 ) - 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	B	これまでも、迅速な対応を行い問題解決に繋げる努力はしているが、マニュアル作成までには至っていない。的確な対応をするためマニュアルを作成し、に定期的な見直しを行いながらサービスの改善に反映させることが求められる。
- 2 サービスの質の確保			
- 2 - ( 1 ) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている			
- 2 - ( 1 ) - サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	A	今回、第三者評価を受審する事で、管理者や職員同士が自己評価を通して、サービスの内容を見つめ直し、更なる保育の質の向上に期待したい。
- 2 - ( 1 ) - 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	A	職員間で課題の共有が図られている。更に今回の第三者評価結果をふまえて、新たな課題への取り組みに期待したい。
- 2 - ( 1 ) - 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	A	現在の職員会議で、計画の見直しや改善の取り組みが行なわれているが、更に第三者評価の結果をもとに、見落としていた事・気づかずにいた事を、改善へと繋げる仕組みを検討して欲しい。
- 2 - ( 2 ) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
- 2 - ( 2 ) - 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	B	基本的なことなどは、理念や方針からも汲み取る事ができ、研修の場でも意見交換は行われている。子ども達や保護者に対する対応のマニュアル化は難しいが、花の井保育園の職員としての、基本的マナーに関する文書を作成し周知する事でサービスの質の確保に繋げて欲しい。
- 2 - ( 2 ) - 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	B	職員会議や年度始めに法人の会議があり、見直しが行なわれているが、マニュアルまでの取り組みにはなっていない。今後、マニュアル化の必要性やサービス内容に関しての検討会などが、定期的に行われる事を期待したい。
- 2 - ( 3 ) サービス実施の記録が適切に行われている。			
- 2 - ( 3 ) - 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	A	毎日、連絡ノートを利用し、変化や問題点を記録に残し、情報を共有している。また、主任保育士が定期的に確認する事で、ばらつきのないように努めている。
- 2 - ( 3 ) - 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	B	保育園内では、園長・主任保育士が中心となり、職員同士が情報を共有しているが、保護者まで十分な対応がされているとは言い切れない。今後、現在使用している、携帯電話の出欠メールなどを活用し、大切な事項が迅速に伝わる、方法なども検討して欲しい。
- 3 サービスの開始・継続			
- 3 - ( 1 ) サービス提供の開始が適切に行われている。			
- 3 - ( 1 ) - 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	A	「子育て支援」の関わりや見学者への積極的な受け入れを行う事で、利用者への要望に対応している。また、市役所などへの資料配布、法人のホームページから、自由に閲覧する事が出来る。

評価基準		評点	コメント
- 3 - ( 1 ) - サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	A	契約書に分りやすく明記されており、入園当初に説明がされている。また、サービス変更に関しても、大切な事なので漏れないような、対応が行なわれている。今後は、サービスの開始や変更にあたり書面による同意について検討されたい。
- 4 サービス実施計画の策定			
- 4 - ( 1 ) 利用者のアセスメントが行われている。			
- 4 - ( 1 ) - 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	B	個別の具体的対応までには至っていない。今後は、一人ひとりの具体的なニーズや課題にもとづいたサービス場面ごとの個別計画づくりに取り組んで、欲しい。
- 4 - ( 2 ) 個別支援計画の策定			
- 4 - ( 2 ) - 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	B	子ども一人ひとりの個別計画作成までには、至っていない。必要に応じて行なわれているが、全員の個別の支援計画を作成する事で、サービス内容の確認、質の向上への前向きな取り組みに期待したい。
- 4 - ( 2 ) - 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	B	現在、0歳児のみの対応で、全員には行われていない。自己評価の実施を機に全員の個別の支援計画への継続的な取り組みに期待したい。
- 4 - ( 3 ) 情報の管理			
- 4 - ( 3 ) - 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	A	規程は、施設内に掲示されている。これを機会に今後ホームページへの掲載も望まれる。